

浜益小学校・浜益中学校合同研修会

義務教育学校の 教育課程編成に向けて

令和6年1月11日

石狩市教育委員会生涯学習部 次長 高橋 真

1. 義務教育学校とは

小中一貫教育

小中連携教育のうち、小・中学校の教員が**目指す子ども像**を共有し**9年間を通じた教育課程**を編成し、**系統的な教育**を目指す教育

「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引 P17」平成28年12月文部科学省

義務教育学校

- 一人の校長・一つの教職員組織
- 修業年限を9年（前期6年＋後期3年）
- 道内20市町で24校（令和5年4月現在）
- R5に5校新規設置（早来、植苗、ゆうべつ、白糠、海星）
- 石狩管内～厚田学園（R2開校）とうべつ学園（R4開校）

小中一貫型小学校・中学校

- 小学校、中学校が組織上独立して、一貫した教育を実施。それぞれの学校に校長・教職員組織
- 道内27市町で128校（令和5年4月現在）
- 形態「施設一体型」「施設隣接型」「施設分離型」

小中連携教育～小・中学校段階の教員が情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育（上記「手引」）

2.義務教育学校のメリット（1）

9年間を見通した教育課程の編成による「確かな学力」の育成

- ・教科の系統性や教科間の関連性を意識した指導順序や指導内容を考慮し、つまづきやすい内容を繰り返し指導したり、関連性の高い内容については前の学年で時間を割いて重点的に丁寧な指導をするなど工夫が可能となる
- ・義務教育9年間に「4-3-2」等の独自の区切を設け、発達段階に応じた効果的な教育課程の編成が可能になる
- ・小・中の教員の相互乗り入れ等により、質の高い学習活動が期待できる

2.義務教育学校のメリット（2）

異学年交流や地域の教育資源等の活用など、義務教育学校ならではの教育活動による「豊かな心」の育成

- ・ 異学年交流によるリーダーシップやフォロアーシップを育成する機会が増える
- ・ 異年齢とのコミュニケーションが増え、小学生の中学生へのあこがれや中学生の小学生への思いやりが育まれる
- ・ 地域の教育資源や地域人材を有効活用した特色ある教育活動により、豊かな心や多様な価値観の育成が期待できる

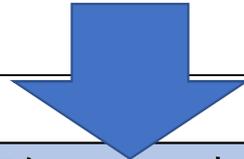
2.義務教育学校のメリット（3）

教職員への安心感が生まれることによる生徒指導の充実 中1のギャップの緩和・解消

- ・ 小学校の時から子どもを見続けている先生が、小学校にも中学校にもいるので、児童生徒に安心感が生まれる（保護者にも）
- ・ 教員間で児童生徒の情報を共有しやすく、個に応じたきめ細やかな生徒指導が可能となる（保護者対応も同様）
- ・ 独自の学年の区切り等により、小学校から中学校への円滑な移行が可能になり「中1ギャップ」の緩和・解消が期待できる

3.義務教育学校において留意すべき点

- ・ 小学校と中学校の節目がなくなり、新たな気持ちの切り替えや進学する充実感が薄れる可能性がある
- ・ 取組によってはリーダーシップや自主性を養う機会が減る場合がある
- ・ 高学年生徒が低学年児童に及ぼす影響に配慮が必要な場合がある
- ・ 小学校と中学校の組織文化や習慣の違いなどから、調整に時間を要することがある



メリットを生かし留意点を強みに変えるには…

小・中学校の教員が**目指す子ども像**を共有し、**9年間を通じた教育課程**を編成し、**系統的な教育**を目指すことが重要

4. 「石狩市小中連携・一貫教育基本方針」 (P6)

本市がめざす小中連携・一貫教育

石狩市教育プランには、6つの基本方針があります。その1つに「学びをつなぐ学校づくり」が位置付けられています。「学びの段階間の連携と接続」「安心して学習活動を行う環境づくり」等が掲げられています。

本市の児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成や中1ギャップへの対応等、教育の質を向上させることは、教育行政と学校現場に課せられた喫緊の課題です。本市における教育の諸課題を解決する有効な手法として、小中連携・一貫教育を推進していきます。

なお、本市においては、へき地・複式校、大規模校、特認校、義務教育学校と様々な学校を設置しています。また、1小1中から4小2中まで多様な形で連携を進めています。そのため、各地区に合わせた連携教育や一貫教育を進めていきます。

4. 「石狩市小中連携・一貫教育基本方針」 (P8)

本市の小中連携・一貫教育の内容

小中連携・一貫教育の内容を「つながる」「のびる」「ひろがる」をキーワードとして、8つの視点で実施します。この視点をもって中学校区・連携地区の規模に応じて組織を編制します。ただし、この他にも、連携できる内容があれば推進します。

令和6年度からは各中学校区や花川北地区において、年1・2回「小中連携の日」を設定し、児童生徒の様子や授業の様子を参観し、連携を深めていきます。

4. 「石狩市小中連携・一貫教育基本方針」 (P10)

本市の小中連携・一貫教育推進のロードマップ

	視点	連携内容	R 6	R 7	R 8
つ な が る	企画推進	<input type="checkbox"/> 管理職による取組の進捗状況把握、指導・助言		継続	継続
		<input type="checkbox"/> 小中連携グランドデザインの作成		見直し	見直し
		・目指す子ども像、育成を目指す資質・能力の設定			
		<input type="checkbox"/> 学校経営計画、学校評価への反映		継続	継続
		<input type="checkbox"/> CS の取組交流		継続	継続
	<input type="checkbox"/> 保護者・地域への発信		継続	継続	
	接続	<input type="checkbox"/> 小中間の引継・交流		継続	継続
		・児童生徒 ・家庭 ・QU 検査			
		<input type="checkbox"/> 不登校児童生徒交流		継続	継続
		<input type="checkbox"/> 部活動の見学・体験の企画・運営			充実
	<input type="checkbox"/> 「小中連携の日」の企画・運営		継続	継続	
	生徒指導	<input type="checkbox"/> 校則・きまりの交流・接続		継続	継続
<input type="checkbox"/> 問題行動等の交流			継続	継続	
<input type="checkbox"/> 児童会・生徒会の交流、合同活動の企画・運営				充実	
<input type="checkbox"/> 児童会・生徒会の合同活動の企画・運営				充実	
特別支援	<input type="checkbox"/> 児童生徒の実態交流		継続	継続	
	・教育支援計画 ・指導計画				
<input type="checkbox"/> 交流授業、合同活動の企画・運営			充実		

4. 「石狩市小中連携・一貫教育基本方針」 (P10)

本市の小中連携・一貫教育のロードマップ

	視点	連 携 内 容	R 6	R 7	R 8
の び る	教育課程	<input type="checkbox"/> 教育課程の接続 ・国語 ・算数 ・総合 ・ICT			充実
		<input type="checkbox"/> 学校改善プランの交流		継続	継続
		<input type="checkbox"/> 体力向上プランや体力向上取組の交流		継続	継続
		<input type="checkbox"/> 各種調査結果分析の交流 ・全国学調 ・CRT ・全国体力		継続	継続
		<input type="checkbox"/> 乗り入れ授業の企画		継続	継続
		<input type="checkbox"/> 家庭学習の交流		継続	継続
ひ ろ が る	研究	<input type="checkbox"/> 研究内容、授業改善の交流		継続	継続
		<input type="checkbox"/> 校内研、指導主事訪問への参加		継続	継続
		<input type="checkbox"/> 合同研修の企画・運営			充実
	養護教諭	<input type="checkbox"/> 保健室運営、利用児童生徒の実態交流		継続	継続
		<input type="checkbox"/> C4th の統計活用			継続
	事務職員	<input type="checkbox"/> 備品状況の共有		継続	継続
		<input type="checkbox"/> 就学援助、諸費未納状況の交流		継続	継続